

表Ⅱ-1 公民館に必要な施設一覧

名称	概略の大きさ	部屋数	合計面積 (㎡)	付属設備などの概要・備考説明	現状面積 (㎡)	
①すべての人に開放された空間＝コミュニティ・スペース						
談話・休憩コーナー*	180㎡	1	180	・喫茶などの提供部門(カウンターなど)をつける(飲むのは談話・休憩コーナーや外で) ・ゆっくりと談話ができ、喫茶ができる場所	-	
カフェ*(喫茶コーナー)				設備についてはイベント開催を考慮して、椅子、机などを軽く、動きやすいものを考える 喫茶の提供部分は福祉の方に提供するイメージもあるのでコーナーを囲うなどの配慮が必要		
展示コーナー*				・ショーケース、活動発表などができる ・ピクチャーレールで壁面利用できる ・喫茶店が画廊になっているイメージ		コミュニティスペースに限らず、通路の壁面などもできる限り利用できるようにする
情報コーナー*				・市民に多様な情報を提供する ・各団体のチラシ、他施設の状況がわかるラックなど		
赤ちゃんコーナー*	40㎡	1	40	・子育て中の親が安心して居られるコーナー ・保育室とは別。親が見守るのが原則	-	
幼児コーナー*				畳・カーペットでハイハイ出来る 柔らかいスツール、低いテーブル		
授乳室*				仕切られた部屋、給湯室が近い、おむつ換えができる		
各階のロビー	60㎡	3	180	※現状は、地下一階(84.5㎡)、一階(84.5㎡)、2階(105.6㎡)の計275㎡のロビーがあるが、増改築案では一階にコミュニティ・スペースの多くを含むエントランスホールの配置を提案しているため、各階ホールスペースとしては現状より縮小した各階60㎡を提案している(廊下を含まず)	275	
②ひらかれた事務室						
事務室	70㎡	1	70	コミュニティ・スペースに接したオープンカウンター方式の事務室。市民が気楽に相談・打合せができ、緩やかなつながりから公民館活動への橋渡しをする	71	
③主に青少年が利用する空間						
学習・自習室*	40㎡	2	80	話し合いながら学習できる部屋と静かに学習する部屋	-	
青少年の居場所*	60㎡	1	60	子どもたちの交流スペース。靴を脱いで入る。半オープン(主に小・中学生を対象)		畳コーナーを設置
防音スタジオ*	40㎡	1	40	バンド、カラオケ設備を整える		青少年優先で一般利用とも併用
④学習室						
学習室*	80㎡	1	80	静かに学習できる部屋の新設	-	
⑤主に不特定多数の講演会・発表会・音楽会などを催す空間						
多目的ホール	250㎡	1	250	・多目的に利用できる(定員150名) ・ピアノ、ダンスに適当な床、鏡の設置 ・舞台を仕切り別室として利用可能に	216	
ホール舞台裏廊下	40㎡	1	40	多目的ホール舞台の裏側に舞台上手と下手をつなぐ内部廊下を追加する	-	
ホール控室*	20㎡	2	40	多目的ホール利用者(発表者)用の控室。舞台裏廊下とつなげる		

名称	概略の大きさ	部屋数	合計面積 (㎡)	付属設備などの概要・備考説明		現状面積 (㎡)
⑥主に公民館事業や団体活動に使う空間						
講座室	160㎡	1	160	・主に講義に使う空間(定員50名) ・広さは現状程度 ・多目的に使用できるよう鏡を設置	講義に必要な設備(黒板、スクリーン、音響、映写機など)を整備	117
多目的室(大)	120㎡	1	120	定員40名、フローリング、半防音、鏡	講義に必要な設備も整備	108
多目的室(中)*	80㎡	1	80	定員20名、半防音、鏡のある部屋を新設		—
多目的室(小)	40㎡	3	120	定員12名、半防音	※現状も3部屋	110
防音多目的室(小)*	40㎡	1	40	・定員12名、防音室として新設 ・バンドおよびカラオケなどにも利用可		—
和室	70㎡	1	70	・18畳×2カ所と水屋、納戸、小舞台 ・2室に区切って使えるよう入り口は2つに	※現状より使い勝手のより配置に	69
工芸室	60㎡	1	60	部屋の有効利用を考えて窯は別室に	※現状は、工芸室60㎡、準備スペース10㎡の計70㎡	60
窯室	10㎡	1	10			10
美術室*	100㎡	1	100	・イーゼルを置けるように部屋には何も置かない ・モデルなどのために2重扉あるいはカーテンをつける		—
料理実習室	80㎡	1	80	・壁面にシンク、調理台を配置する ・講師用に対面の調理台を配置する ・中心には作業兼食事もできる可動式の机を配置する		62
視聴覚室	100㎡	1	100	・定員40名。多目的利用可(鏡設置) ・防音、床貼りなど視聴覚室としての設備を整える ※現在の準備室(35㎡)は不要		97
						35
団体活動室	70㎡	1	70	倉庫、印刷室、作業室に区分		40
公民館活動資料室*	20㎡	1	20	公民館、利用団体の記録、資料を保存し、閲覧もできるスペースを設ける		—
保育室	80㎡	1	80	日当たりの良いところに設置する		75
給湯室				各階に設置		
⑦事業を行ううえで必要な空間						
応接室	15㎡	1	15	公民館来訪者や講師の待機場所などに使用		16
救護室	20㎡	1	20	具合が悪くなった人のため(ベッド2台)。※現状は宿直室を救護室として使用		14
			合計 2,205			合計 1,374

★スペースは、現状から1.6倍とすることを提案

*新設スペース

なお、机・椅子はできるだけ各部屋近くの壁面収納とする。